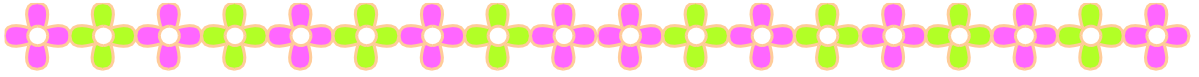


福島県立医科大学附属病院 PET検査機器による診療の受付開始について



平成26年7月1日から県立医大附属病院において、地域の医療機関の皆様からのご紹介により、PET-MRIおよびPET-CTによる検査・診察を実施することになりました。

※検査等の実施方法については裏面をご覧ください。



国内で初めて導入され、東日本では唯一の「PET-MRI」、県北地域で初めて導入された「PET-CT」を、貴院の患者さんの診療にご活用下さい。

※保険適用となった場合、患者さまのご負担は3万円程度になります。

【撮影機器】

PET-MRI : 「Biograph mMR」(シーメンス社製)

PET-CT : 「Biograph mCT」(シーメンス社製)

■ご紹介による診療■

別紙の保険適用疾患の患者さまについて、診察のうえで検査が必要な方に検査を実施いたします。

当院、放射線科に患者さまをご紹介ください。

【連絡先】

紹介に関すること：地域連携担当（TEL：024-547-1074）

■ご契約による検査■

ご契約をいただいた医療機関さまにおいて必要性が認められた患者さまに対して、検査のみを実施いたします。

検査終了後、読影レポート等の情報を郵送にてご依頼いただいた医療機関さまにご提供いたします。

【連絡先】

契約に関すること：病院経営課病院総務係
(TEL：024-547-1021)

PET-MRIおよびPET-CTの保険適用疾患について

■ PET(E101-2 ポジトロン断層撮影)

No.	疾患名	診断目的	備考
1	てんかん	難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる患者に使用する。	
2	心疾患	虚血性心疾患による心不全患者における心筋組織のバイアビリティ診断(他の検査で判断のつかない場合に限る。)又は心サルコイドーシスにおける炎症部位の診断が必要とされる患者に使用する。	※2
3	悪性腫瘍 (早期胃癌を除き、悪性リンパ腫を含む。)	他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない患者に使用する。 なお、悪性リンパ腫の治療効果判定のために行った場合については、転移・再発の診断の目的に該当する。[疑義解釈あり]	※1 2008年診療報酬改定継続

※1

【使用用途】	【対象傷病名】	【診断目的】
鑑別診断	肺癌、頭頸部癌、乳癌、大腸癌、転移性肝癌	・他の検査、画像診断でその存在を疑うが、病理診断により確定診断が得られない患者(医学的な理由(生検リスクが高い等)によって病理診断が困難であった場合については、臨床上高い蓋然性をもって悪性腫瘍と診断される場合)[疑義解釈あり]
鑑別診断	膀胱癌	・膀胱癌の場合、他の検査、画像診断で膀胱癌を疑うが、腫瘍形成性膀胱炎と鑑別が困難な患者[疑義解釈あり]
原発巣検索	原発不明癌、転移性肝癌	リンパ節生検、画像診断等で転移巣が疑われ、かつ、腫瘍マーカーが高値を示す等、悪性腫瘍の存在を疑うが、原発巣の不明な患者

■ PET/CT(E101-3 ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影)

No.	疾患名	診断目的	備考
1	てんかん	難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる患者に使用する。	
2	悪性腫瘍 (早期胃癌を除き、悪性リンパ腫を含む。)	他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない患者に使用する。 なお、悪性リンパ腫の治療効果判定のために行った場合については、転移・再発の診断の目的に該当する。 なお、文中の「画像診断」からは、コンピューター断層撮影に係るものを除く。	※2 2008年診療報酬改定継続

※2

上記表を満たさないが、PET(E101-2 ポジトロン断層撮影)の表に定める要件を満たす場合、PET(E101-2 ポジトロン断層撮影)で算定する。

(E101-3 ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影 算定要件(3)より)

■ PET/MRI(E101-3 ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影)

No.	疾患名	診断目的	備考
1	悪性腫瘍 (脳、頭頸部、縦隔、胸膜、乳腺、直腸、泌尿器、卵巣、子宮、骨軟部組織、造血器、悪性黒色腫)	他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない患者に使用する。 なお、文中の「画像診断」からは、磁気共鳴コンピューター断層撮影に係るものを除く。	

◇高額な検査となりますので、保険適用についてご検討の上、ご依頼下さいますようお願いいたします◇